

令和6年度 環境創造センター県民委員会（第2回）議事録

●日時・場所

令和7年 3月18日（火）午前10時30分から午後0時20分
環境創造センター交流棟 学習室A

●報告事項

「第2期環境創造センター中長期取組方針（案）の策定に係る進捗状況について」

●議事

議題

- (1) 令和6年度環境創造センター事業報告（中間報告）について
- (2) 令和7年度環境創造センター年次計画について

●出席委員

福島大学共生システム理工学類	客員教授	河津 賢澄
福島県商工会議所連合会	理事	坪井 大雄（書面出席）
福島県消費者団体連絡協議会	理事	氏居 俊夫
一般財団法人福島県婦人団体連合会	理事	渡辺 佳子
福島県小学校長会	常任幹事	齋藤 雅敏
福島県PTA連合会	副会長	野木 和洋（web出席）

（以上6名）

●欠席委員

福島県市長会		品川 萬里
福島県町村会	会長	宮田 秀利
福島県商工会連合会	専務理事	金子 市夫
福島県農業協同組合中央会	専務理事	今泉 仁寿

（以上4名）

●事務局出席職員

福島県環境創造センター（県センター）

所長	青木 浩司
副所長	小池 由浩
総務企画部長	佐々木 正広
研究部長	小田島 正
調査・分析部長	吉田 尚史
研究部副部長	菅野 宏之
環境放射線センター主幹	関谷 健一 ほか

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島廃炉安全工学研究所廃炉環境国際共同
研究センター（JAEA）

研究主席 飯島 和毅

国立研究開発法人国立環境研究所福島地域協働研究拠点（NIES）

拠点長 根木 桂三

研究グループ長 林 誠二

福島国際研究教育機構研究開発部門

（原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野）（F-REI）

副分野長 大原 利眞(web出席)

●オブザーバー

生活環境総務課

副課長兼主任主査

柳沼 平

●内容

1 開会

2 報告事項

「第2期環境創造センター中長期取組方針（案）の策定に係る進捗状況について」

事務局（小池副所長）から参考資料2-1、2-2、3-1、3-2を用いて、第2期環境創造センター中長期取組方針（案）の策定状況について報告した。

3 議事

「議題（1）令和6年度環境創造センター事業報告（中間報告）について」及び
「議題（2）令和7年度環境創造センター年次計画について」

事務局（小池副所長、吉田調査・分析部長、小田島研究部長、佐々木総企画部長）から資料1-1、1-2、2、3を用いて説明し、以下の質疑等があった。

【齋藤委員】

小学校長会の齋藤です。本日は、本館及び研究棟を見学させていただき、いろいろ詳しい説明をいただきました。普段は教育関係ですので、交流棟「コミュタン福島」には何度か訪れたことがあるのですが、研究棟などには足を踏み入れる機会がなかったので、どんな調査研究が行われているのかということを一県民として知ることができて大変有難かったなと思います。

資料3のNo.6,7の河津委員長からの質問にもありましたが、県内小学校の交流棟「コミュタン福島」の利用が半分程度なんだということは少し意外でした。私が今まで勤めていた学校では、全て毎年訪問させていただいていたので、もっと高い数字かなと思っておりました。今、震災を経験していない子供たちが、小中学生という状況になっておりますので、震災と原発事故、記憶と教訓を風化させないためにも、特に交流棟は小中学生の学習にとって大事な施設というふうに認識しております。様々な誘致活動をしているということは、今お話を聞いて認識しましたが、学校というのは、年間教育計画が

決まっております、途中から飛び込むことができない特殊なところがあります。毎年11月下旬頃から、もう1月には次の年度の教育活動の計画が決まってしまう状況です。

加えて今、教育現場においては働き方改革ということで、いわゆる学習指導要領に載っている標準時数で計画されていますので、余剰時数がない状況のため、本当に途中で何かお誘いや紹介を受けた際に、年度途中から入り込む隙間がないというのが現状です。そういったことを考えると、9月、10月、11月ぐらいに集中して誘致活動を行うと、より効果があるのではないかなと思いましたが、一つ意見として述べさせていただきました。本日はどうもありがとうございました。

【河津委員長】

センターからコメントがあればお願いします。

【佐々木総務企画部長】

ありがとうございました。私共も先ほど、昨年度、県内全方を回らせていただいたというお話をさせていただきました。時期についても、夏休み又は冬休みというような時期で次年度の計画に間に合わせるべく、訪問させていただいたところです。先ほど詳細は申し上げませんでした、県北、県中、県南の方部はやはり利用率が高い地域になってございます。それと南会津、相双、いわきの方部は少し低い状況ですので、来年度も引き続き、そういった学校の状況を踏まえながら、利用を促進すべく、足を運ばせていただければと考えております。ありがとうございました。

【河津委員長】

他にいかがでしょうか。

【氏居委員】

私は消費者団体連絡協議会から来ておりまして、郡山で消費者の勉強会を年に8回～10回ぐらい、1ヵ月あるいは1ヵ月半ぐらいのペースで勉強会をやっております。

先日、県から放射能についての勉強会をやっていただけないかという要請を受けたので、福島大学の先生にいらっしゃっていただき、テーマとしては放射能と、我々がいつも口にしていて食品というテーマで勉強会をしていただきました。本日も研究棟や本館を見せていただき、お話を聞いた時も安心できました。いろんな研究をしていただいて、調査をしていただいて、これから生活していく上で、安心を私たちが得ているんだなという実感をすごく感じました。ですから私もこれから、何かにつけてそういったお話を皆さんにしていきたいなと思っております。ありがとうございました。

【河津委員長】

ありがとうございました。やはり安心を得ることは非常に必要なことかと思えます。環境創造センターの中にいると、住民だとか、そういうところに実際に接している方とは少し関係が違うのかなと思えますので、今のようなお話がいろんなところでされると非常にいいのかなと感じます。

他にいかがでしょうか。もし何かありましたら、私でも事務局でも結構ですので、意見や要望を上げていただければと思います。

それでは、この件に関しましては、委員会としては基本的にはこのままとさせていただき、細部については、私の方に一任させていただきながら、また事務局と相談しながら、最終的なものとして仕上げていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

【河津委員長】

ありがとうございました。それでは、これで本日の議事は終了したいと思います。皆様、御協力いただきありがとうございました。

4 閉会

以上